

消費者安全調査委員会の動き 第55号

(平成29年10月24日)

今回の内容：会議情報、委員長等記者会見の様様

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第62回消費者安全調査委員会（平成29年10月24日）

- 玩具による乳幼児の気道閉塞事故事案
調査の経過報告を審議し、決定しました。本件事案については、玩具は乳幼児の日常生活の中で広く使われていること、気道閉塞による死亡事故が発生していること、乳幼児という、消費者安全の確保の観点から特に配慮を要する者が主として被害を受け又は受けるおそれがあることから、昨年11月に調査対象に選定しました。
本日公表する経過報告は、これまで約1年間調査してきた内容と今後の調査について示したものです。引き続き調査を進め、なるべく早く再発防止策を示したいと考えています。経過報告は消費者安全調査委員会のホームページでご覧いただけます。

http://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_013/

- 家庭用コージェネレーションシステム事案
意見のあり方について審議を行いました。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち3件については調査を行わないことになりました。残りの案件（39件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で、調査委員会において判断していくこととなります。
- ワンポイントアドバイス
消費者からの申出事案に対して情報収集を行った中から、事故防止のために参考となる情報をお知らせするものです。
今回は、まだ紅葉の季節である11月に、急に寒くなって雪が降った日に、露天風呂の階段の表面が凍っているのに気がつかずに、滑って転んで骨折したという申出を受け、利用者や施設管理者に向けたアドバイスです。
詳しくは、消費者安全委員会のホームページでご覧いただけます。

http://www.caa.go.jp/csic/action/pdf/action_index4_171025_0001.pdf

部会の動き

- サービス等事故調査部会（10月上旬に開催）
 - ・ 住宅用太陽光発電システムから発生した火災等事故事案
主に、再発防止策と関係行政機関に対する意見について審議しました。
これまで得られた情報を基に、更なる事実の確認や分析を行い、再発防止策の検討を進めていく予定です。

委員長等記者会見の様様

委員会後に委員長等の記者会見を行いました。

詳細は以下をご覧ください。

<http://www.caa.go.jp/csic/action/index2.html>